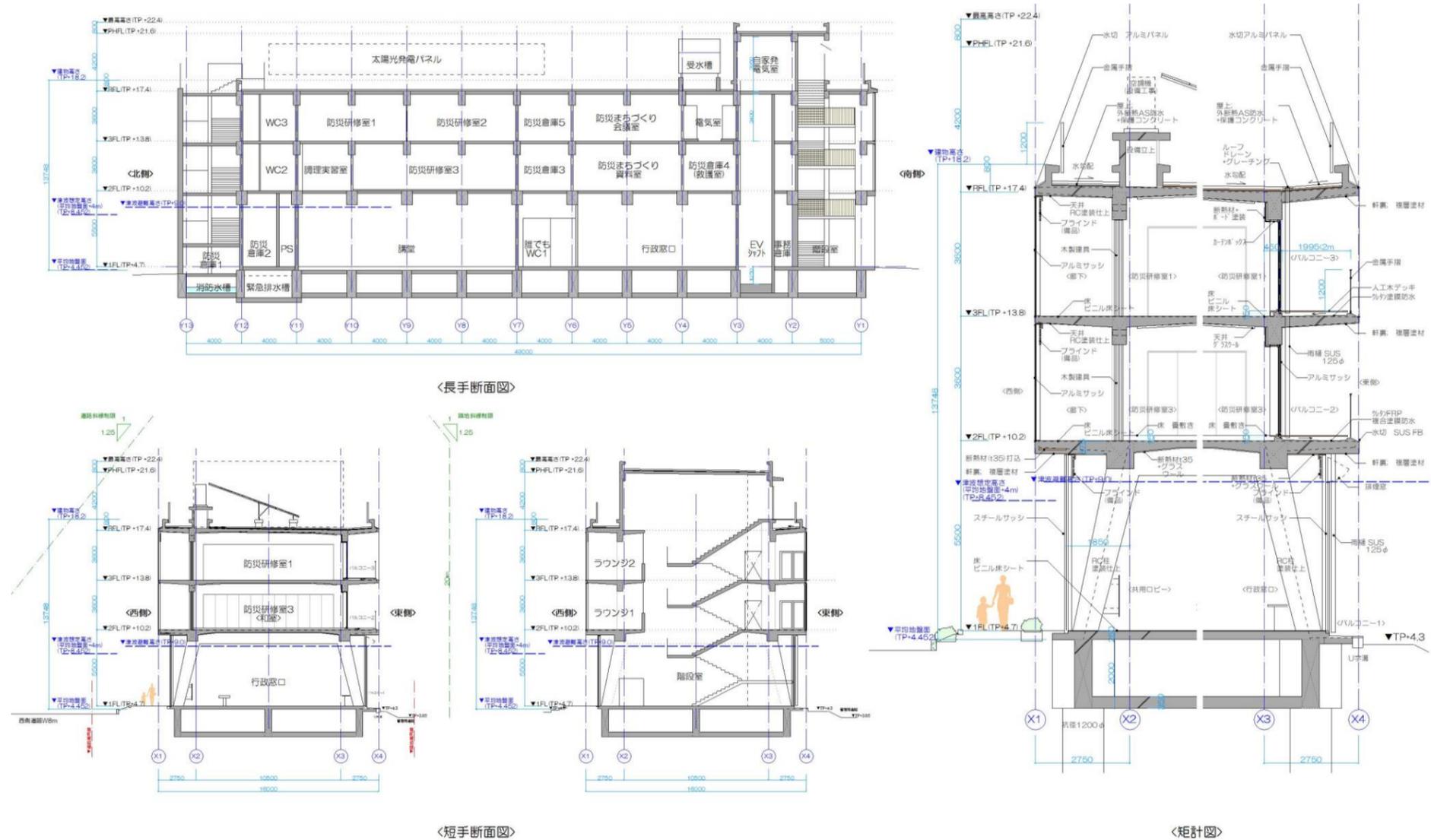
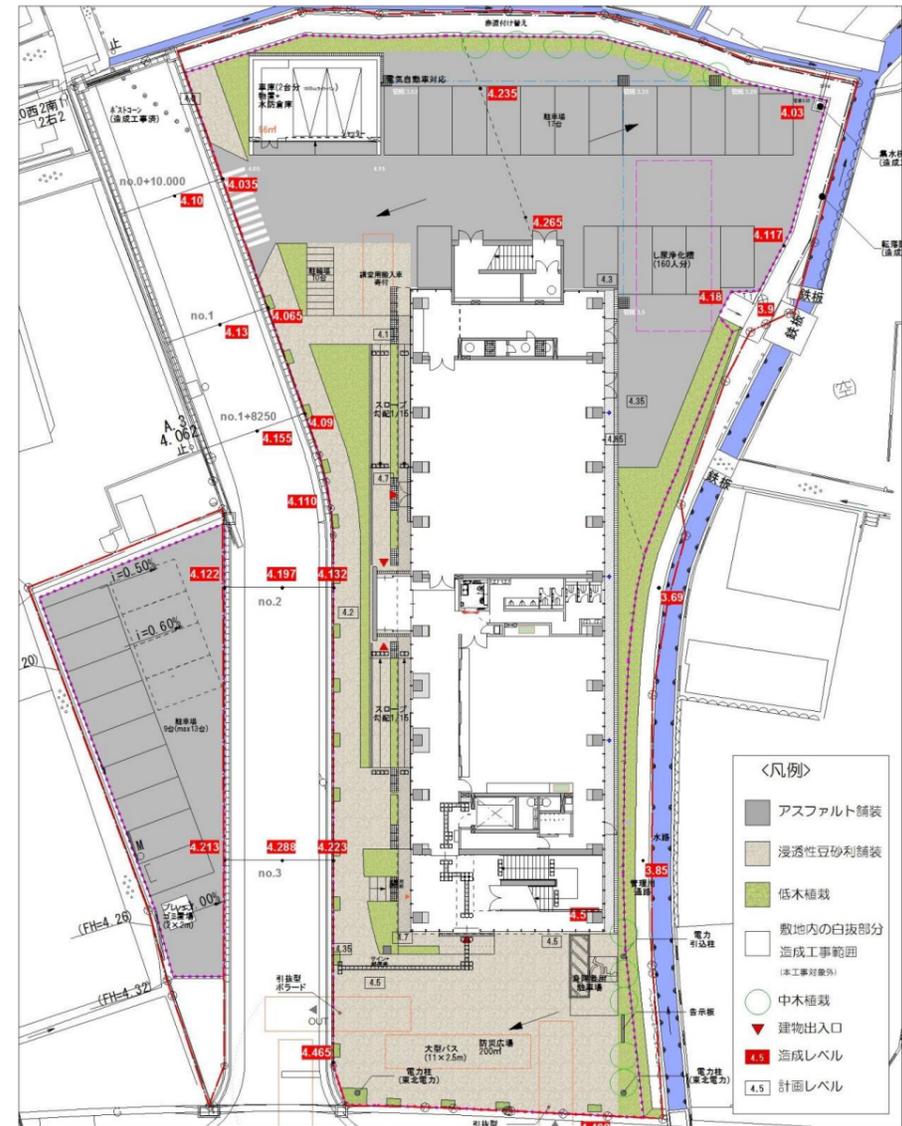


断面図・矩計図



外構計画概要



サバイバルコアの考え方について

サバイバルコアの性能について

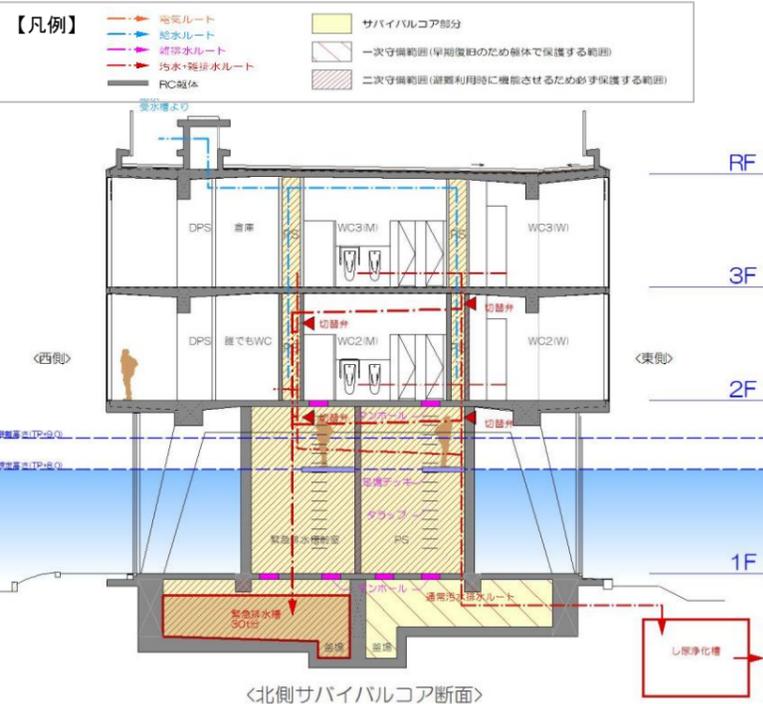
- ・ 躯体のひび割れによる浸水の可能性はあるが、直接の波力を受けないように各設備配管を保護し、復旧時に迅速に対応できる役割を担うため躯体で囲む。
- ・ 1Fのサバイバルコアの開口部は復旧時に緊急排水槽から排水を排出するための一箇所のみとする。基本的には上階のマンホールより降りて点検を行う。
- ・ ピットへの浸水対策としてピット内の点検用マンホールはサバイバルコア内のみとする。

北側サバイバルコア

- ・ 災害時に利用するWC及び調理実習室の平常時の排出ルートから緊急排水槽へのルートに変えられるように2、3Fスラブ下に切替弁を設置する。2Fスラブ下は足場を設置し、安全性を確保する。

南側サバイバルコア

- ・ EVシャフトは躯体壁で囲み、1、2Fの出入口部は鉄扉等で浸水対策を施す（実施設計時に強度の確保について検証する）。
- ・ EPSは復旧性を高めるため津波の影響のある2Fまで躯体壁で守り、点検は3Fのマンホールからピットまで降りる計画とする。1、2Fの盤関係はEPSの外に設置して、被害の最小化を図る。
- ・ 1Fにおける電気配管をEPS引き込む際には直接サバイバルコアの壁ではなく一旦2Fに上げてからコア内に引き込む計画とする。



自家発電設備計画

a. 計画概要

- ・ 自家発電設備は浸水を考慮し、屋上発電機室に設置する。
- ・ 発電機はキュービクル式とする。
- ・ 燃料は入手性のよい軽油とし、燃料小出槽は950Lとする。
- ・ 85時間以上の連続運転可能な機器とする。

b. 機器仕様

項目	仕様	備考
形式	屋外キュービクル形	
運転時間	85時間以上	
発電機	電圧・電気方式 3φ3W 40KV 周波数・回転数 50Hz 1,500rpm 容量・力率 40kVA以上 0.8	
原動機	種別 ディーゼルエンジン 始動方式 電気式 冷却方式 水冷（ラジエータ冷却）	
仕様燃料	軽油	

c. 供給負荷

電源種別	負荷内容	備考
予備電源	なし	建築基準法
非常電源	消化ポンプ	消防法
保安電源	・ 通路照明1/4~1/3程度、各居室の照明 1/4程度、 トイレ照明 1/2程度 ・ 災害対策室、救護室の照明100%、コンセント ・ 建物管理機器類、給排水ポンプ類、誘導灯	